

	内容	実施場所	参加者
1	チラシの作成(認知症の方のコロナ対策等)	-	-
2	認知症に関するリモート相談会(計2回) 参加者へのアンケート調査	オンライン	11名
3	もの忘れ外来通信の発行(計3回)	-	-
4	認知症サロン個別面談(予約制30分/回)	医療機関	3名
5	介護者へのニーズ調査 (サロン開催形式についてニーズを調査)	-	50名
6	新型コロナウイルス生活ガイド発行 (コロナ禍での認知症患者の対応)	-	-
7	「精神科クリニックにおけるサービス紹介と笑いヨガ」 (講義、質疑応答、相談)	医療機関	14名
8	「認知症サポーター養成講座」(講義、質疑応答、相談)	医療機関	13名
9	「認知症の診断や支援における地域の課題」 (講義、質疑応答)	オンライン	11名
10	「徘徊を主症状とする認知症の方への支援」 (事例検討、ディスカッション)	オンライン	11名
11	「神戸モデルのメリットを知って早期に診断を受けましょう！」(講義、質疑応答、ディスカッション、相談)	オンライン	5名
12	「コロナ禍における認知症本人の意思を尊重したケアの実際」(講演、質疑応答)	オンライン	14名
13	「知ってほしい認知症の大事な話」 (講演会、質疑応答)	医療機関	27名
14	「はつらつサロン～脳と体をつかう運動ってご存じですか?～」(理学療法士による運動、専門職による座談会)	医療機関	当日参加者無し
15	「20分でまとめる「認知症」概論～医師は認知症を診るとき何を考えているか～」(講演会、質疑応答)	院外会場	14名
16	「認知症へのそなえ」(講演内容を神戸市健康組合の50歳対象のセミナーにて動画配信)	動画配信	-